

令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）事業（評価資料）

事業名	新土佐清水市地場産品販売施設改修事業
-----	--------------------

1. 地方創生として目指す将来像

土佐清水市の人口は、昭和33年の33,256人をピークに減少しており、令和3年9月末時点には12,691人まで減少し、国立社会保障・人口問題研究所によると令和27年（2045年）には5,948人まで減少すると推計されています。

また、経済基盤の脆弱な本市にとって、経済発展の鍵は、第一次産業及び古くから本市経済を支えてきた宗田節加工業をはじめとする水産加工業の振興並びに観光業が中心ですが、温暖化や新型コロナウイルスの影響及び価格低迷により、水産漁獲物販売金額、農産物販売金額ともに減少している状況です。就業人口全体では、昭和40年の11,573人から平成27年の6,868人になり、市内での就労先確保が困難となっており、特に20代の若年層の社会減による人口移動が問題になっています。

そのような状況の中、土佐清水市過疎地域持続的発展計画や第2期土佐清水市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、基幹産業である農業、漁業、観光関連産業の振興のため、基盤整備に努めるとともに、交流人口を活用した商業、地場産業の振興を図り、出展者の所得向上に寄与するだけでなく、中山間地域における課題である、雇用の安定と就労機会の確保に努め、本市が有する地域の特性や強みを活かし、魅力を発信することで、再整備が進んでいる竜串地区を中心に活力あるまちづくりを目指すこととしています。

2. 地方創生の実現における構造的な課題

平成10年に開設された道の駅めじかの里土佐清水は、四国有数の大型水族館である足摺海洋館SATOUMIやスノーピーク土佐清水キャンプフィールド、ジオパーク等、三崎・竜串地区の再開発の取組により、竜串地区を中心として本市を訪れる人は増加傾向にあり、三崎・竜串地区において重要な観光拠点であるが、現在の施設規模、人員配置では交流イベント等のプロモーションを実施しても十分な効果が見込めず、施設の老朽化や、座席数の少ない食堂、人がすれ違うことができない狭い直販所等の要因により、地域経済・交流人口の活性化に活かせていないため、既存の施設では改善が見込めないと判断し、施設の改修を行います。地元食材を中心とした広々とした直販所、コックレス、セルフ化により、人員の効率化に配慮しつつも、物販機能の強化や特産品である宗田節や清水サバのほか、今まで市場に出回らなかった鮮魚の販売や特産品の開発、販売、物産展等の交流イベントを行います。

また、近年660,000人で推移していた観光客数は、足摺海洋館SATOUMIがリニューアルオープンしたことで、1年間で約220,000人の来場があり、令和2年度は、コロナ禍で都道府県や市町村を越える移動制限があったものの市全体の観光客数は増加し、年間約670,000人になりました。この観光客の20～30%が竜串地区の観光施設に来場があり、キャンプや水族館を楽しむ子ども連れの観光客をターゲットとし、土佐清水市の交流人口の増加、観光振興、産業振興に寄与するものと考えます。

地方創生の実現における構造的な課題として、土佐清水市の産業別就業人口は、第三次産業が最も割合が多いが、全ての産業で減少傾向にあり、特に第一次産業の減少割合が最も大きく、国勢調査によると平成22年の第一産業の就業人口は899人であり昭和60年の2,635人と比べ約34%になっています。しかし、産業別特化係数を見ると男女ともに漁業関係が高く、男性37.67、女性8.76になっており、基幹産業の中心であると考えますが、RESASによると海面漁業の就業者数は、平成20年の642人から平成30年度は468人に減少しており、年齢構成では15歳～34歳までの全国平均が12%に対し、土佐清水市では3%となっています。一方で65歳以上の割合が全国平均の39%に対し、土佐清水市は50%になっており、特に若年層の社会減による人口流出や高齢化による地場産業の衰退など、地域経済の活性化が喫緊の課題であり、地域の基幹産業の振興、生産者の所得向上のために施設整備が必要です。

3. KPI（重要業績評価指標）

指標	単位	策定当初	R2	R3	R4	R5	R6
		目標値（R6）	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
		基準値（R1）	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
道の駅めじかの里土佐清水利用者	人	145,000	70,000	72,000	19,500	141,000	145,000
		68,200	62,326	72,355	31,303	19,846	
道の駅めじかの里土佐清水売上額	千円	151,800	44,600	45,800	10,000	147,400	151,800
		43,400	47,162	50,717	21,794	19,873	
道の駅めじかの里土佐清水雇用者数	人	13	-	7	7	13	13
		7	7	7	7	15	

※R5実績値については、令和5年4月26日～令和5年5月31日までの実績値です。

4. デジタル社会の形成への寄与（道の駅に設置しているデジタルサイネージを使用した観光情報等のPR）

指標	単位	R5
		目標値
		実績値
観光情報のPR	回	12
		0
特産品等のPR	回	12
		1
交流イベントのPR	回	6
		1

※R5実績値については、令和5年4月26日～令和5年5月31日までの実績値です。

5. 令和4年度の具体的な取組内容及び評価

事業費	319,112,200円	うち交付金	159,556,000円	うち補助金	45,771,000円
-----	--------------	-------	--------------	-------	-------------

【事業内容】

【新土佐清水市地場産品販売施設改修事業】

施設を改修することにより、観光客の満足度向上による土佐清水市のイメージアップ、リピーターの確保及び地元農林水産物・加工品の販売促進を強化するとともに、安定的な雇用の拡大や地場産業の発展を目的として、道の駅めじかの里土佐清水内にある、新土佐清水市地場産品販売施設【木造平屋建て594㎡（直販所：280㎡、飲食部：165㎡、事務室等その他：149㎡）の整備を行った。

【成果】

- ・以前の施設の課題でもあった、「商品売り場（建物）が狭い」、「商品が少ない」など、地元客の要望に応えられていない状態や、また観光客にとっても利用しづらい環境であったが施設整備により課題が解消された。
- ・竜串地域を訪れる観光客の昼食を取る場が不足していたが、十分な広さを有した飲食スペースができたことで、観光客や団体客の受け入れが可能（62席）な体制となった。

【今後の課題及び対策】

- ・原材料費高騰等により、食堂のメニューの金額が高額となり、地元住民が利用しづらいという声を多く頂いた。観光客向けの高額な単価設定のメニューとは別に、地元住民が利用しやすい安価な単価のメニューの提供が課題である。
- ・毎月道の駅でイベントを実施する予定だが、竜串地域の他の観光資源との連携したイベント等の企画し、道の駅だけではなく、地域の活性化となるよう取組を行う必要がある。

6. 取組の検証

取組の検証	事業効果	1.効果の有無はわからない
	課題・改善点	上記記載のとおり

- 1.効果の有無はまだわからない。 2.地方創生に対して効果がなかった。 3.地方創生に効果があった。
4.地方創生に相当程度効果があった。 5.地方創生に非常に効果的であった。

7. 有識者からの評価

有識者からの評価	1.効果の有無はわからない
意見	<p>・ SATOUMI水族館オープン後、観光客が増加しましたが、大規模な飲食店がなく、観光客の不満が聞こえていたが、めじかの里がリニューアルオープンしたことで、改善が見込める。</p> <p>・ 施設的には素晴らしいと思うが、使いこなせていない現状に思える。オープンから5回ほど週末に来店しているが、スタッフ数に対し、対応力が弱い（遅）常に忙しそうにバタバタしているので、お客側が不安になる。レストランについて価格が高いのが目につく「清水サバ刺身定食・鯉のタタキ定食・めじかの漬け丼、カレーうどん等が特に目立つので、全体的に高いイメージになる。地元民はいかなくなる。また、売店も大月町の苺氷620円等有名な商品が高いと目立つのでは、また、当初説明があった「カツオのタタキ」実演（ライブキッチン）等も行っていないと思うし、毎月予定していたイベントに対しても行っている様子も無い。また、観光客向けのパンフレットコーナーや観光用DVDでの案内に対しても、コーナーが狭いので効果的ではないと思う。とにかく課題は山積みでは・・・？</p> <p>・ 施設が新しくなり、地場産品や販売品も増え、駅の中も明るくなりいい環境になって賑わいも増えてきていると思います。観光客に対して、土佐清水市に入ってくる国道にジオパークやジョン万の看板はあるけれども、道の駅があることを知らせる目立つ様な看板がない様な気がします。</p> <p>・ 新装された道の駅が活性化の中心的な役割を果たすことを期待します。高校生などを活用したイベント等への企画力もお願いできればと思います。</p> <p>・ 道の駅めじかの里土佐清水については、オープン後間もなく評価が付けづらい。しかし、販売している商品やレストランのメニュー表を見ると割高であり、ターゲットは観光客だとは思いますが、地元の方々は利用しないのではないかと感じました。</p> <p>・ 道の駅めじかの里はオープンしたばかりで、効果の有無はまだわからない。</p> <p>・ 当初より立地条件が悪いので、新築しても変化はないと思う。</p> <p>・ 入込客数、売り上げ等の状況をみますと、好調なスタートがきれたものと考えています。ただし、まだリニューアルオープンから1か月程度ですので、効果検証・評価は早すぎると考え、先の評価としました。</p> <p>・ 今後の取り組みに関しては、より多くの地元の方々に利用していただく必要があると考えています。そのためには、評価資料にも記載されている食事の価格設定とともに、地域の人々が求めている商品、例えば野菜など産直品等の品揃えについても、より充実していく必要があるのではないかと考えます。また、道の駅には、竜串地域の東の玄関口、地域観光の情報発信拠点としての機能も求められています。竜串地域だけでなく足摺岬などを含めた周遊プランの造成・PRなどを強化していくことで、入込客の滞在時間の延長につながるものと考えますので、市の関係機関がより一層連携して取り組みを充実していただければと思います。</p>
	1.効果の有無はまだわからない。 2.地方創生に対して効果がなかった。 3.地方創生に効果があった。 4.地方創生に相当程度効果があった。 5.地方創生に非常に効果的であった。